

KSH 「取り組み状況」

熊本県立熊本商業高等学校

令和4年度「新たな価値観を創造できる ビジネスリーダーの育成」

校内にWEBスタジオを新設し、「ビジネス基礎」、「マーケティング」、「商品開発」、「課題研究」、「ビジネス法規」などの授業をとおして情報発信力を高めるとともに、知的財産に関する保護と活用について理解を深める。また、起業を目指す上で資金調達法や投資等について学習させることで「新たな価値観を創造できるビジネスリーダーの育成」を目指す。

令和5年度「新たな価値観を創造できる ビジネスリーダーの育成」

令和4年度の成果である学習内容、蓄積データ分析結果及び編集技術及び配信技術等を発揮し、令和5年度は情報データベース化と外部情報発信を図る。

令和6年度「地域資源を活用した適正な探究活動の推進」

3年生の探究活動の成果を生かした新たな進路開拓の実現と、1, 2年生の課題発見及び解決能力の向上を目指す。

熊本商業高校の教育目標

1. スクール・ミッション
2. スクール・ポリシー
3. 教育方針
4. 教育目標
5. 教育スローガン

スクール・ミッション

校訓「礼節」「剛健」のもと、本校生が商業科目学習の充実と高い専門性を身に付け、地域社会の発展に貢献できる人と人をつなぐビジネスリーダーとなることに併せて、学習活動等の成果を外へ発信したり情報提供することで、商業系学科の中心校としての役割を果たす。

スクール・ポリシー

ビジネス分野の実践力を育成するため、STEAM教育の視点を取り入れ、地域との連携を推進する。

教育方針

1「礼節」「剛健」及び「反省十訓」を踏まえ、徳・知・体の調和のとれた全人教育を目指す

2伝統継承しつつ「令和の日本型教育」がめざす「全ての生徒の可能性を引き出す」学びの実現に努め、教職員が一体となって、

家庭や地域との連携のもと活力ある学校づくりをめざす。

教育目標

1. 豊かな人間性と健全な心身の育成
2. 学力の向上と進路指導の充実
3. 地域社会の期待に応える特色ある学校づくり
4. 生徒を伸ばす教育活動の実践

教育スローガン

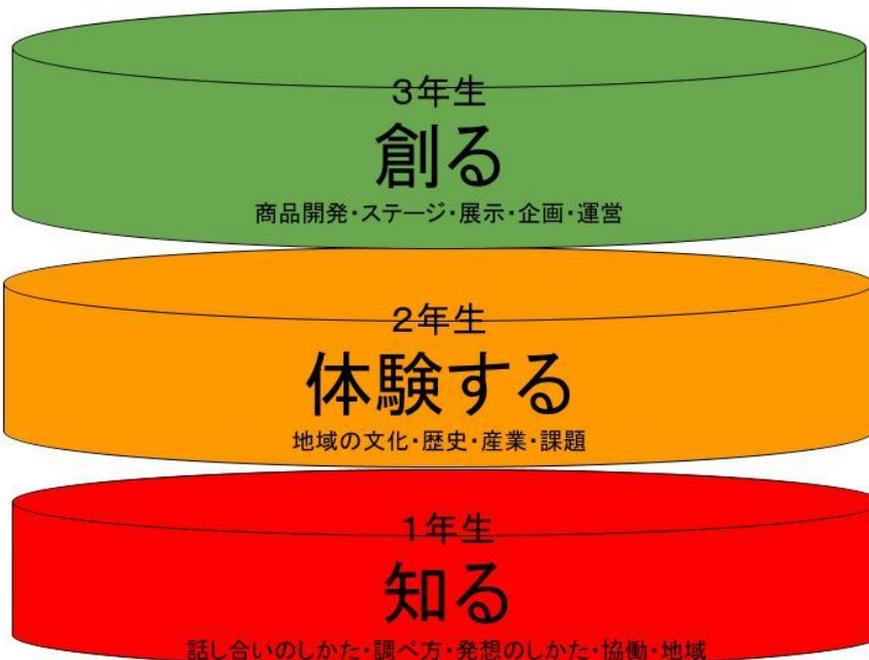
令和の時代も選ばれ続ける
オンリーワンの商業高校へ
～志高く、恕と信頼の人づくり～

KSHと総合的な探究の時間

- イベントを通してビジネスを学ぶ
- イベントを知る・参加する・出演する・運営する
- 「協働と共同」を体験するために業務分担し対話力を身につける
- 「想像と創造」を身につけるために「発想」トレーニングとワークショップに取り組む

総合的な探究の時間 学びの柱

学びの柱
イベントを通してビジネスを学ぶ



KSHと総探1年生

- マチマチ体験学習
- 「街(マチ)を創る」を知る
- 「街(マチ)を続ける」を考える
- 中心商店街の現状を知り、これからを考える

KSHと総探1年生

「街（マチ）を創る」を知る
「街（マチ）を続ける」を考える

「マチ・マチ一日体験」

研修中

熊本県立熊本商業高等学校



KSHと総探1年生 問いをたてるトレーニング



KSHと総探2年生

- 熊本県内を9つのエリアに分類
- 9クラスで分担 担当エリアを調べ学習
- 各クラス10班10項目
- 広用紙にまとめて展示
- 担当エリアから商品を仕入れて熊商デパート運営
- エリアと商品のストーリーづくり

KSHと総探2年生

- 「問答ゲーム」で論理的思考力を身につける
- 型をもつことで文章作成の苦手意識を除く
- 調べたことを繋ぎ合わせる
- 物語 ストーリーづくり
- 短い言葉で表現する 15文字以内
- 紹介、説明にキャッチコピーを考える

KSHと販売実習「熊商デパート」

- 地域の事業所とパートナー関係を結ぶ(全クラス)
- 中心商店街の現状とこれからを学ぶ(1年生)
- 担当エリアの調べ学習(2年生)
- 商品開発と体験型商品の提案(3年生)
- 協力事業所との関係を通してビジネスマナーを身につける(生徒全員)

KSHと授業「商品開発と流通」

- 神水1丁目半径2kmエリア探索
- 住所ごとにエリア分け
- エリアの特徴を調べ、「記憶」「連想」「組み合わせ」「デザイン」に取り組む
- エリアをお題として「外観」「状況」「動作」「状態変化」「機能」「文化」それぞれの記憶を抽出

KSHと授業「商品開発と流通」

- 「記憶」から出た中から1つ選び連想する
- 連想の連想にならないように気をつける
- お題と連想を組み合わせる
- 組み合わせの中から説明なしにわかるモノを選ぶ
- 誰もが見てわかるモノ尚且つ意外性

KSHと授業「商品開発と流通」

- 「ワクワク」をデザインする
- 「線」のワークショップ
- 10種類の違った線を1枚の紙に1つ10枚書く
- 他のメンバーと並べて分類する
- 分類したら名前を付ける
- 名前のついた「線」を見つけに行く
- 写真を撮って並べる

KSHと授業「課題研究」

- イベント企画運営
- 既存イベントにコラボ
- 展示班、バザー班、ステージ班、広報班
- 班別、チームでのプロジェクト
- 既存イベント 主催者との交渉
- 独自イベント 集客、企画力、運営力
- まとめる力 発表する力